

【日本国籍を有しない者の参加資格】

上記 ii. 参加資格(1)で「いいえ」の場合は、以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	継続的に日本に滞在している。 (※「継続的に日本に滞在」と認定するに要する期間は、2025年4月30日から2025年10月8日までとする)	はい ・ いいえ
(2)	次の要件をいずれも満たしている。	はい ・ いいえ
	a. 2025年以前に、以下の要件のいずれも満たしていた。 ・少年種別年齢域に該当していた際、「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、1年以上在籍していた。 ・「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当していた。	
	b. 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時において「留学」(大学に在学している、専修学校(専門学校)に在籍している)に該当しない。 ※大学等に在籍する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格の「留学」と同等に扱う	

iii. 所属都道府県

以下のいずれかの区分から参加を申込み。(※該当するものに丸をつける)

いいえ(下線部付のいいえ)に○が付く場合は参加資格を満たしていません。

【 1. 居住地を示す現住所 2. 勤務地 3. ふるさと 】

※上記で選択した区分の該当要件を回答すること。

【1. 居住地を示す現住所】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2025年4月30日から2025年10月8日まで引き続き、当該都道府県において住所に関する届け出を行っており、なおかつ、上記期間の総日数の半数を超えて当該都道府県で生活している実態がある。 (「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準に則っている)	はい ・ いいえ
	↳ 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 ↳ 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	↳ 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【2. 勤務地】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2025年4月30日から2025年10月8日まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、なおかつ、上記期間のうち、1週当たり労働義務がない2日および国民の祝日を除き、残った日数の半数を超えて当該都道府県に存する事業所等に現実に通勤し、勤務している。 (「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準に則っている)	はい ・ いいえ
	↳ 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 ↳ 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	↳ 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【3. ふるさと】

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	当該都道府県を「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に基づく「ふるさと」として、都道府県予選会の参加申込締切日までに登録している。	はい ・ いいえ
	↳ ※過去大会参加時に登録済の場合 一度登録した「ふるさと」と異なる都道府県を選択していない。	はい ・ いいえ
(2)	卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県を選択している。 (※JOCエリートアカデミーを修了、または同アカデミーに在籍している場合は卒業小学校所在地。「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」もしくは「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する場合は、被災時に在籍していた学校の所在地も含む。)	はい ・ いいえ
	↳ ※学校名を明記 学校名 [] 高等学校 ・ 中学校 ・ 小学校	
(3)	「ふるさと」の活用回数が2回以下である。 (※活用は原則として1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回まで。回数のおよび数え方については、『第79回国民スポーツ大会本大会「実施要項総則第5項(2)所属都道府県」選択における事例』[https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid191.html]を参照すること)	はい ・ いいえ
	↳ ※過去大会において「ふるさと」を活用したことがある場合 「ふるさと」を活用して出場した大会(都道府県予選会を含む)は以下のとおりである。 (※該当する大会に丸をつける) 【62・63・64・65・66・67・68・69・70・71・72・73・74・75・76・77・特別・78】	

【日本国籍を有しない者の参加資格】

上記 ii. 参加資格(1)で「いいえ」の場合は、以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	継続的に日本に滞在している。 (※「継続的に日本に滞在」と認定するに要する期間は、2025年4月30日から2025年10月8日までとする)	はい ・ いいえ
(2)	次の要件をいずれも満たしている。	はい ・ いいえ
	a. 「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、大会実施要項が定める参加申込時に1年以上在籍している。 b. 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当している。	

iii. 所属都道府県

以下のいずれかの区分から参加を申込む。(※該当するものに丸をつける)

いいえ(下線部付のいいえ)に○が付く場合は参加資格を満たしていません。

- 【 1. 居住地を示す現住所 2. 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地 3. 勤務地 4. 「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地 】

※上記で選択した区分の該当要件を回答すること。

【1. 居住地を示す現住所】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2025年4月30日から2025年10月8日まで引き続き、当該都道府県において住所に関する届け出を行っており、なおかつ、上記期間の総日数の半数を超えて当該都道府県で生活している実態がある。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている)	はい ・ いいえ
	↳ 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 ↳ 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	↳ 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【2. 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2025年4月30日から2025年10月8日まで引き続き通学している学校の所在地である。	はい ・ いいえ
	↳ 『「一家転住等」に伴う特例措置』を活用する。	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 ↳ 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	↳ 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
(2)	以下のいずれにも該当していない。 a. 休学中の者 b. 通信による教育を行う課程に学んでいる者 c. 高等学校の専攻科、別科に学んでいる者	はい ・ いいえ

【3. 勤務地】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2025年4月30日から2025年10月8日まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、なおかつ、上記期間のうち、1週当たり労働義務がない2日および国民の祝日を除き、残った日数の半数を超えて当該都道府県に存する事業所等に現実に通勤し、勤務している。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている)	はい ・ いいえ
	↳ 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 ↳ 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	↳ 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【4. 「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地】

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	都道府県予選会参加時から当該競技会終了日まで引き続き、JOCエリートアカデミーに在籍している。	はい ・ いいえ
(2)	卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択している。 JOCエリートアカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択している。	はい ・ いいえ
	↳ ※学校名を明記 学校名 [] 小学校	
(3)	JOCエリートアカデミー在籍時に、第78回大会以前の国スポに参加したことがあり、その大会参加時に選択した所属都道府県と今回の都道府県は変更していない。	はい ・ いいえ

第79回国民スポーツ大会本大会における参加資格確認書

「第79回国民スポーツ大会(滋賀県)実施要項総則」及び「第79回国民スポーツ大会参加資格、年齢基準等の解釈・説明」資料の内容に照らし合わせ、下記項目に基づいて第79回国民スポーツ大会(滋賀県)における監督としての参加資格要件を満たしていることを確認し、参加資格が適切であることをご報告します。

第79回大会参加 所属都道府県:	日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格 登録番号: _____ 資格名: _____ 有効期限: _____年 _____月 _____日
競技名:	種目名:
記入日: _____年 _____月 _____日	氏名:

i. 過去大会(都道府県予選会を含む)の出場履歴(※該当するものに丸をつけるとともに記入する)

(1) 特別大会[冬季大会:青森県・岩手県][本大会:鹿児島県]

出場	不出場				
↓	↓	()	都・道	より	()
		()	府・県) を選択して出場
					1. 居住地を示す現住所 2. 勤務地 3. ふるさと(選手・成年) 4. 学校所在地(選手・少年) 5. JOCリトアカデミー(選手・少年)

(2) 第78回大会[冬季大会:北海道・山形県][本大会:佐賀県]

出場	不出場				
↓	↓	()	都・道	より	()
		()	府・県) を選択して出場
					1. 居住地を示す現住所 2. 勤務地 3. ふるさと(選手・成年) 4. 学校所在地(選手・少年) 5. JOCリトアカデミー(選手・少年)

ii. 参加資格

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

いいえ(下線部付のいいえ)に○が付く場合は参加資格を満たしていません。

項目	確認内容	回答
(1)	日本国籍を有している、あるいは「永住者」(特別永住者を含む)である。	はい・いいえ
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ※「いいえ」の場合 日本国籍を有しないが、次頁「日本国籍を有しない者の参加資格」の要件を満たしている。(※「日本国籍を有しない者の参加資格」についても回答すること) </div> </div>	はい・ <u>いいえ</u>
(2)	都道府県予選会及びブロック大会を含め、過去2大会(特別・第78回)のうち、直前に出場した大会において、今回と異なる都道府県から参加していない。	はい・いいえ
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ※「いいえ」の場合 ※a~cのいずれかに ※該当していること </div> </div>	a. 新卒業者
	a. 以下のいずれかに該当する。 1) 第78回大会参加者: 2024年度以降に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。 2) 特別大会参加、第78回大会不参加者: 2023年度以降に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。	b. 結婚・離婚
	b. 以下のいずれかに該当する。 1) 第78回大会参加者: 2024年5月1日以降、2025年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。 2) 特別大会参加、第78回大会不参加者: 2023年5月1日以降、2025年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。	c. 震災特例
	c. 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	d. 能登特例
	d. 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	
(3)	第79回大会本大会において、複数競技・種別に参加を申し込んでいない。(※選手との兼任も含む。監督が種別共通で配置される場合は除く。)	はい・ <u>いいえ</u>
(4)	第79回大会冬季大会に参加していない、または、第79回大会冬季大会に参加した際、今回と同一の都道府県から参加した。	はい・ <u>いいえ</u>
(5)	大会参加前の1年以内に指定されたアンチ・ドーピング教育を受講している。	はい・ <u>いいえ</u>
(6)	ドーピング検査を受けることに同意する。(※選手との兼任の場合のみ)	はい・ <u>いいえ</u>
(7)	2025年4月1日現在、18歳以上である。(※2007年4月1日以前生まれ)	はい・ <u>いいえ</u>

(2枚目へ続く)

【日本国籍を有しない者の参加資格】

上記 ii. 参加資格(1)で「いいえ」の場合は、以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	継続的に日本に滞在している。 (※「継続的に日本に滞在」と認定するに要する期間は、2025年4月30日から2025年10月8日までとする)	はい ・ いいえ
(2)	次の要件をいずれも満たしている。	はい ・ いいえ
	a.2025年以前に、以下の要件のいずれも満たしていた。 ・少年種別年齢域に該当していた際、「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、1年以上在籍していた。 ・「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当していた。 b.「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時において「留学」(大学に在学している、専修学校(専門学校)に在籍している)に該当しない。 ※大学等に在籍する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格の「留学」と同等に扱う	

iii. 所属都道府県

以下のいずれかの区分から参加を申込む。(※該当するものに丸をつける)

いいえ(下線部付のいいえ)に○が付く場合は参加資格を満たしていません。

【 1. 居住地を示す現住所 2. 勤務地 3. ふるさと(※選手との兼任の場合のみ) 】

※上記で選択した区分の該当要件を回答すること。

【1. 居住地を示す現住所】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2025年4月30日から2025年10月8日まで引き続き、当該都道府県において住所に関する届け出を行っており、なおかつ、上記期間の総日数の半数を超えて当該都道府県で生活している実態がある。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている)	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【2. 勤務地】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2025年4月30日から2025年10月8日まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、なおかつ、上記期間のうち、1週当たり労働義務がない2日および国民の祝日を除き、残った日数の半数を超えて当該都道府県に存する事業所等に現実に通勤し、勤務している。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている)	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【3. ふるさと(選手兼任のみ)】

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	当該都道府県を「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に基づく「ふるさと」として、都道府県予選会の参加申込締切日までに登録している、または、過去大会参加時に登録を済ませている。	はい ・ いいえ
	※過去大会参加時に登録済の場合 一度登録した「ふるさと」と異なる都道府県を選択していない。	はい ・ いいえ
(2)	卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県を選択している。 (※JOCエリートアカデミーを修了、または同アカデミーに在籍している場合は卒業小学校所在地。「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」もしくは「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する場合は、被災時に在籍していた学校の所在地も含む。)	はい ・ いいえ
	※学校名を明記 学校名 [] 高等学校 ・ 中学校 ・ 小学校	
(3)	「ふるさと」の活用回数が2回以下である。 (※活用は原則として1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回まで。回数のお数え方については、『第79回国民スポーツ大会本大会「実施要項総則第5項(2)所属都道府県」選択における事例』[https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid191.html]を参照すること)	はい ・ いいえ
	※過去大会において「ふるさと」を活用したことがある場合 「ふるさと」を活用して出場した大会(都道府県予選会を含む)は以下のとおりである。 (※該当する大会に丸をつける) 【62・63・64・65・66・67・68・69・70・71・72・73・74・75・76・77・特別・78】	

iv. 公認スポーツ指導者資格

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2025年4月1日時点で公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格が「有効」であり、かつ有効期限が2026年3月31日以降である。	はい ・ いいえ

第79回国民スポーツ大会本大会における参加資格確認書

「第79回国民スポーツ大会(滋賀県)実施要項総則」及び「第79回国民スポーツ大会参加資格、年齢基準等の解釈・説明」資料の内容に照らし合わせ、下記項目に基づいて第79回国民スポーツ大会(滋賀県)における成年種別年齢域の選手としての参加資格要件を満たしていることを確認し、参加資格が適切であることをご報告します。

第79回大会参加

所属都道府県: _____

競技名: _____

種目名: _____

記入日: 年 月 日

氏名: _____

i. 過去大会(都道府県予選会を含む)の出場履歴 (※該当するものに丸をつけるとともに記入する)

(1) 特別大会[冬季大会:青森県・岩手県] [本大会:鹿児島県]

出場	・	不出場								
			都・道	より	府・県	1. 居住地を示す現住所 2. 勤務地 3. ふるさと 4. 学校所在地(選手・少年) 5. JOCリトアガデミー(選手・少年)				を選択して出場

(2) 第78回大会[冬季大会:北海道・山形県] [本大会:佐賀県]

出場	・	不出場								
			都・道	より	府・県	1. 居住地を示す現住所 2. 勤務地 3. ふるさと 4. 学校所在地(選手・少年) 5. JOCリトアガデミー(選手・少年)				を選択して出場

ii. 参加資格

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

いいえ(下線部付のいいえ)に○が付く場合は参加資格を満たしていません。

項目	確認内容	回答
(1)	日本国籍を有している、あるいは「永住者」(特別永住者を含む)である。 <small>※「いいえ」の場合</small>	はい ・ いいえ
(2)	都道府県予選会及びブロック大会を含め、過去2大会(特別・第78回)のうち、直前に出場した大会において、今回と異なる都道府県から参加していない。 <small>※「いいえ」の場合 ※a~dのいずれかに ※該当していること</small>	はい ・ いいえ
	a. 以下のいずれかに該当する。 1) 第78回大会参加者: 2024年度以降に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。 2) 特別大会参加、第78回大会不参加者: 2023年度以降に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。	a. 新卒業者
	b. 以下のいずれかに該当する。 1) 第78回大会参加者: 2024年5月1日以降、2025年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。 2) 特別大会参加、第78回大会不参加者: 2023年5月1日以降、2025年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。	b. 結婚・離婚
	c. 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用する、または解除する。	c. ふるさと
	d. 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。 e. 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	d. 震災特例 e. 能登特例
(3)	都道府県予選会及びブロック大会を含め、第79回大会本大会において、複数競技に参加を申し込んでいない。	はい ・ いいえ
(4)	第79回大会冬季大会に参加していない。または、第79回大会冬季大会に参加した際、今回と同一の都道府県から参加した。	はい ・ いいえ
(5)	大会参加前の1年以内に指定されたアンチ・ドーピング教育を受講している。	はい ・ いいえ
(6)	健康診断を受け、競技会への参加に支障がないことが確認されている。	はい ・ いいえ
(7)	第79回大会本大会の予選会(都道府県予選会やブロック大会)に参加する、又は参加した。 (※「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」対象者及び予選会免除対象大会出場者については、この限りでない)	はい ・ いいえ
(8)	ドーピング検査を受けることに同意する(18歳未満の場合、親権者の同意を含む)。	はい ・ いいえ
(9)	2025年4月1日現在、18歳以上である。(※2007年4月1日以前生まれ)	はい ・ いいえ

(2枚目へ続く)

【日本国籍を有しない者の参加資格】

上記 ii. 参加資格(1)で「いいえ」の場合は、以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	継続的に日本に滞在している。 (※「継続的に日本に滞在」と認定するに要する期間は、2025年4月30日から2025年10月8日までとする)	はい ・ いいえ
(2)	次の要件をいずれも満たしている。 a. 2025年以前に、以下の要件のいずれも満たしていた。 ・少年種別年齢域に該当していた際、「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、1年以上在籍していた。 ・「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当していた。	はい ・ いいえ
	b. 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時において「留学」(大学に在学している、専修学校(専門学校)に在籍している)に該当しない。 ※大学等に在籍する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格の「留学」と同等に扱う	

iii. 所属都道府県

以下のいずれかの区分から参加を申込み。(※該当するものに丸をつける)

いいえ(下線部付のいいえ)に○が付く場合は参加資格を満たしていません。

【 1. 居住地を示す現住所 2. 勤務地 3. ふるさと 】

※上記で選択した区分の該当要件を回答すること。

【1. 居住地を示す現住所】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2025年4月30日から2025年10月8日まで引き続き、当該都道府県において住所に関する届け出を行っており、なおかつ、上記期間の総日数の半数を超えて当該都道府県で生活している実態がある。 (「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準に則っている)	はい ・ いいえ
	↳ 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 ↳ 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	↳ 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【2. 勤務地】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2025年4月30日から2025年10月8日まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、なおかつ、上記期間のうち、1週当たり労働義務がない2日および国民の祝日を除き、残った日数の半数を超えて当該都道府県に存する事業所等に現実に通勤し、勤務している。 (「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準に則っている)	はい ・ いいえ
	↳ 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 ↳ 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	↳ 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【3. ふるさと】

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	当該都道府県を「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に基づく「ふるさと」として、都道府県予選会の参加申込締切日までに登録している。	はい ・ いいえ
	↳ ※過去大会参加時に登録済の場合 一度登録した「ふるさと」と異なる都道府県を選択していない。	はい ・ いいえ
(2)	卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県を選択している。 (※JOCエリートアカデミーを修了、または同アカデミーに在籍している場合は卒業小学校所在地。「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」もしくは「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する場合は、被災時に在籍していた学校の所在地も含む。)	はい ・ いいえ
	↳ ※学校名を明記 学校名 [] 高等学校 ・ 中学校 ・ 小学校	
(3)	「ふるさと」の活用回数が2回以下である。 (※活用は原則として1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回まで。回数のおよび数え方については、『第79回国民スポーツ大会本大会「実施要項総則第5項(2)所属都道府県」選択における事例』[https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid191.html]を参照すること)	はい ・ いいえ
	↳ ※過去大会において「ふるさと」を活用したことがある場合 「ふるさと」を活用して出場した大会(都道府県予選会を含む)は以下のとおりである。 (※該当する大会に丸をつける) 【62・63・64・65・66・67・68・69・70・71・72・73・74・75・76・77・特別・78】	

第79回国民スポーツ大会本大会における参加資格確認書

「第79回国民スポーツ大会(滋賀県)実施要項総則」及び「第79回国民スポーツ大会参加資格、年齢基準等の解釈・説明」資料の内容に照らし合わせ、下記項目に基づいて第79回国民スポーツ大会(滋賀県)における少年種別年齢域の選手としての参加資格要件を満たしていることを確認し、参加資格が適切であることをご報告します。

第79回大会参加

所属都道府県: _____

競技名: _____

種目名: _____

記入日: 年 月 日

氏名: _____

i. 過去大会(都道府県予選会を含む)の出場履歴(※該当するものに丸をつけるとともに記入する)

(1)特別大会[冬季大会:青森県・岩手県][本大会:鹿児島県]

出場	不出場		都・道	より		を選択して出場
↳	↳		府・県		1. 居住地を示す現住所 2. 学校所在地 3. 勤務地 4. JOCエリートアカデミー	

(2)第78回大会[冬季大会:北海道・山形県][本大会:佐賀県]

出場	不出場		都・道	より		を選択して出場
↳	↳		府・県		1. 居住地を示す現住所 2. 学校所在地 3. 勤務地 4. JOCエリートアカデミー	

ii. 参加資格

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

いいえ(下線部付のいいえ)に○が付く場合は参加資格を満たしていません。

項目	確認内容	回答
(1)	日本国籍を有している、あるいは「永住者」(特別永住者を含む)である。 ↳ ※「いいえ」の場合	はい・ <u>いいえ</u>
(2)	都道府県予選会及びブロック大会を含め、過去2大会(特別・第78回)のうち、直前に出場した大会において、今回と異なる都道府県から参加していない。 ↳ ※「いいえ」の場合 ※a~eのいずれかに ※該当していること	はい・ <u>いいえ</u>
	a. 以下のいずれかに該当する。 1)第78回大会参加者: 2024年度以降に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。 2)特別大会参加、第78回大会不参加者: 2023年度以降に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。	a. 新卒業者
	b. 2007年4月2日から4月30日生まれのもので以下のいずれかに該当する。 1)第78回大会参加者: 2024年5月1日以降、2025年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。 2)特別大会参加、第78回大会不参加者: 2023年5月1日以降、2025年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。	b. 結婚・離婚
	c. 以下のいずれかに該当する。 1)第78回大会参加者: 第78回大会終了時から第79回大会都道府県予選会までにやむを得ない理由により、一家転住した。 2)特別大会参加、第78回大会不参加者: 特別大会終了時から第79回大会都道府県予選会までにやむを得ない理由により、一家転住した。	c. 一家転住
	d. JOCエリートアカデミーに在籍している。	d. JOCアカデミー
	e.「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。 f.「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	e. 震災特例 f. 能登特例
(3)	都道府県予選会及びブロック大会を含め、第79回大会本大会において、複数競技に参加を申込んでいない。	はい・ <u>いいえ</u>
(4)	第79回大会冬季大会に参加していない。または、第79回大会冬季大会に参加した際、今回と同一の都道府県から参加した。	はい・ <u>いいえ</u>
(5)	大会参加前の1年以内に指定されたアンチ・ドーピング教育を受講している。(保護者含む)	はい・ <u>いいえ</u>
(6)	健康診断を受け、競技会への参加に支障がないことが確認されている。	はい・ <u>いいえ</u>
(7)	第79回大会本大会の予選会(都道府県予選会やブロック大会)に参加する、又は参加した。(※「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」対象者及び予選会免除対象大会出場者については、この限りでない)	はい・ <u>いいえ</u>
(8)	ドーピング検査を受けることに同意する(親権者の同意を含む)。	はい・ <u>いいえ</u>
(9)	2025年4月1日現在、15歳以上18歳未満である。 (※2007年4月2日以降(サッカー競技およびバスケットボール競技少年種別は2009年1月1日)から2010年4月1日以前生まれ)	はい・ <u>いいえ</u>
	↳ ※「いいえ」の場合 2010年4月2日以降から2011年4月1日以前に生まれた中学3年生で、以下の競技(種目)のいずれかに出場する。 陸上競技、水泳(競泳、飛込、水球(女子)、アーティスティックスイミング、オープンウォータースイミング)、サッカー、テニス、体操(競技、新体操、トランポリン)、バドミントン、レスリング(少年男子)※、セーリング、ソフトテニス、卓球、馬術、フェンシング、バドミントン、ライフル射撃(ビームライフル、ビームピストル)、スポーツクライミング、カー、アーチェリー、ホウリング、ゴルフ ※2011年1月1日から2011年4月1日までの間に生まれた者を除く。	はい・ <u>いいえ</u>

(2枚目へ続く)

【日本国籍を有しない者の参加資格】

上記ii. 参加資格(1)で「いいえ」の場合は、以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	継続的に日本に滞在している。 (※「継続的に日本に滞在」と認定するに要する期間は、2025年4月30日から2025年10月8日までとする)	はい ・ いいえ
(2)	次の要件をいずれも満たしている。	はい ・ いいえ
	a. 「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、大会実施要項が定める参加申込時に1年以上在籍している。 b. 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当している。	

iii. 所属都道府県

以下のいずれかの区分から参加を申込む。(※該当するものに丸をつける)

いいえ(下線部付のいいえ)に○が付く場合は参加資格を満たしていません。

- 【 1. 居住地を示す現住所 2. 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地 3. 勤務地 4. 「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地 】

※上記で選択した区分の該当要件を回答すること。

【1. 居住地を示す現住所】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2025年4月30日から2025年10月8日まで引き続き、当該都道府県において住所に関する届け出を行っており、なおかつ、上記期間の総日数の半数を超えて当該都道府県で生活している実態がある。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている)	はい ・ いいえ
	↳ 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 ↳ 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	↳ 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【2. 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2025年4月30日から2025年10月8日まで引き続き通学している学校の所在地である。	はい ・ いいえ
	↳ 『「一家転住等」に伴う特例措置』を活用する。	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 ↳ 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	↳ 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
(2)	以下のいずれにも該当していない。 a. 休学中の者 b. 通信による教育を行う課程に学んでいる者 c. 高等学校の専攻科、別科に学んでいる者	はい ・ いいえ

【3. 勤務地】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2025年4月30日から2025年10月8日まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、なおかつ、上記期間のうち、1週当たり労働義務がない2日および国民の祝日を除き、残った日数の半数を超えて当該都道府県に存する事業所等に現実に通勤し、勤務している。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている)	はい ・ いいえ
	↳ 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 ↳ 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	↳ 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【4. 「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地】

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	都道府県予選会参加時から当該競技会終了日まで引き続き、JOCエリートアカデミーに在籍している。	はい ・ いいえ
(2)	卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択している。 JOCエリートアカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択している。	はい ・ いいえ
	↳ ※学校名を明記 学校名 [] 小学校	
(3)	JOCエリートアカデミー在籍時に、第78回大会以前の国スポに参加したことがあり、その大会参加時に選択した所属都道府県と今回の都道府県は変更していない。	はい ・ いいえ

第79回国民スポーツ大会本大会における参加資格確認書

「第79回国民スポーツ大会(滋賀県)実施要項総則」及び「第79回国民スポーツ大会参加資格、年齢基準等の解釈・説明」資料の内容に照らし合わせ、下記項目に基づいて第79回国民スポーツ大会(滋賀県)における監督としての参加資格要件を満たしていることを確認し、参加資格が適切であることをご報告します。

第79回大会参加 所属都道府県:	日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格 登録番号: _____ 資格名: _____ 有効期限: _____年 _____月 _____日
競技名:	種目名:
記入日: _____年 _____月 _____日	氏名:

i. 過去大会(都道府県予選会を含む)の出場履歴(※該当するものに丸をつけるとともに記入する)

(1) 特別大会[冬季大会:青森県・岩手県][本大会:鹿児島県]

出場	不出場				
↓	↓	()	都・道	より	()
		()	府・県)
					を選択して出場

(2) 第78回大会[冬季大会:北海道・山形県][本大会:佐賀県]

出場	不出場				
↓	↓	()	都・道	より	()
		()	府・県)
					を選択して出場

ii. 参加資格

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

いいえ(下線部付のいいえ)に○が付く場合は参加資格を満たしていません。

項目	確認内容	回答
(1)	日本国籍を有している、あるいは「永住者」(特別永住者を含む)である。 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>※「いいえ」の場合</small> </div> </div> 日本国籍を有しないが、次頁「日本国籍を有しない者の参加資格」の要件を満たしている。(※「日本国籍を有しない者の参加資格」についても回答すること)	はい・ <u>いいえ</u>
(2)	都道府県予選会及びブロック大会を含め、過去2大会(特別・第78回)のうち、直前に出場した大会において、今回と異なる都道府県から参加していない。 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <small>※「いいえ」の場合 ※a~cのいずれかに ※該当していること</small> </div> </div> a. 以下のいずれかに該当する。 1) 第78回大会参加者: 2024年度以降に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。 2) 特別大会参加、第78回大会不参加者: 2023年度以降に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。	はい・ <u>いいえ</u>
	b. 以下のいずれかに該当する。 1) 第78回大会参加者: 2024年5月1日以降、2025年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。 2) 特別大会参加、第78回大会不参加者: 2023年5月1日以降、2025年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。	a. 新卒業者
	c. 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	b. 結婚・離婚
	d. 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	c. 震災特例
(3)	第79回大会本大会において、複数競技・種別に参加を申し込んでいない。(※選手との兼任も含む。監督が種別共通で配置される場合は除く。)	はい・ <u>いいえ</u>
(4)	第79回大会冬季大会に参加していない、または、第79回大会冬季大会に参加した際、今回と同一の都道府県から参加した。	はい・ <u>いいえ</u>
(5)	大会参加前の1年以内に指定されたアンチ・ドーピング教育を受講している。	はい・ <u>いいえ</u>
(6)	ドーピング検査を受けることに同意する。(※選手との兼任の場合のみ)	はい・ <u>いいえ</u>
(7)	2025年4月1日現在、18歳以上である。(※2007年4月1日以前生まれ)	はい・ <u>いいえ</u>

(2枚目へ続く)

【日本国籍を有しない者の参加資格】

上記 ii. 参加資格(1)で「いいえ」の場合は、以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	継続的に日本に滞在している。 (※「継続的に日本に滞在」と認定するに要する期間は、2025年4月30日から2025年10月8日までとする)	はい ・ いいえ
(2)	次の要件をいずれも満たしている。	はい ・ いいえ
	a.2025年以前に、以下の要件のいずれも満たしていた。 ・少年種別年齢域に該当していた際、「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、1年以上在籍していた。 ・「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当していた。 b.「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時において「留学」(大学に在学している、専修学校(専門学校)に在籍している)に該当しない。 ※大学等に在籍する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格の「留学」と同等に扱う	

iii. 所属都道府県

以下のいずれかの区分から参加を申込む。(※該当するものに丸をつける)

いいえ(下線部付のいいえ)に○が付く場合は参加資格を満たしていません。

【 1. 居住地を示す現住所 2. 勤務地 3. ふるさと(※選手との兼任の場合のみ) 】

※上記で選択した区分の該当要件を回答すること。

【1. 居住地を示す現住所】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2025年4月30日から2025年10月8日まで引き続き、当該都道府県において住所に関する届け出を行っており、なおかつ、上記期間の総日数の半数を超えて当該都道府県で生活している実態がある。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている)	はい ・ いいえ
	↳ ※「いいえ」の場合 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【2. 勤務地】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2025年4月30日から2025年10月8日まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、なおかつ、上記期間のうち、1週当たり労働義務がない2日および国民の祝日を除き、残った日数の半数を超えて当該都道府県に存する事業所等に現実に通勤し、勤務している。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている)	はい ・ いいえ
	↳ ※「いいえ」の場合 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【3. ふるさと(選手兼任のみ)】

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	当該都道府県を「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に基づく「ふるさと」として、都道府県予選会の参加申込締切日までに登録している、または、過去大会参加時に登録を済ませている。	はい ・ いいえ
	↳ ※過去大会参加時 ※に登録済の場合 一度登録した「ふるさと」と異なる都道府県を選択していない。	はい ・ いいえ
(2)	卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県を選択している。 (※JOCエリートアカデミーを修了、または同アカデミーに在籍している場合は卒業小学校所在地。「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」もしくは「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」を活用する場合は、被災時に在籍していた学校の所在地も含む。)	はい ・ いいえ
	↳ ※学校名を明記 学校名 [] 高等学校 ・ 中学校 ・ 小学校	
(3)	「ふるさと」の活用回数が2回以下である。 (※活用は原則として1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回まで。回数のお数え方については、『第79回国民スポーツ大会本大会「実施要項総則第5項(2)所属都道府県」選択における事例』[https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid191.html]を参照すること)	はい ・ いいえ
	↳ ※過去大会において「ふるさと」を活用したことがある場合 「ふるさと」を活用して出場した大会(都道府県予選会を含む)は以下のとおりである。 (※該当する大会に丸をつける) 【62・63・64・65・66・67・68・69・70・71・72・73・74・75・76・77・特別・78】	

iv. 公認スポーツ指導者資格

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2025年4月1日時点で公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格が「有効」であり、かつ有効期限が2026年3月31日以降である。	はい ・ いいえ